

脱炭素社会づくりに向けた熟議の輪を広げる。

活動地域  東京都・神奈川県・愛知県・北海道



授業風景

課題

脱炭素転換推進の上で市民参加（行動、政策形成）は不可欠であるが、日本社会では問題点打開への市民による徹底討議、合意形成努力、市民政策提言などは未知の世界である。

目標

脱炭素転換に向けて、市民による徹底討議のための手法開発を实践を通じて推進し、定着を目指すとともに、若い世代を対象に参加・熟議に対する必要な能力を身につけてもらう。



今後の
展望

目標に向けて着実に前進している。2050年カーボンゼロへの内外の追い風を受け、地域社会・高校・高専の教育現場と連携し、実践を積み上げ、脱炭素社会づくり参加・熟議型のプログラムの完成・普及に全力をあげたい。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- ①脱炭素社会づくりのための地域市民討議の開催
欧州の気候市民会議等の動向を踏まえ、川崎市にて「脱炭素かわさき市民会議」を開催することとし、無作為抽出を基本に75人の一般市民の参加を得て、2021年5～10月開催に向け準備
- ②高校生及び高専生向け参加・熟議型脱炭素・エネルギー教育プログラムの開発・実践
筑波大学附属坂戸高校、立命館慶祥高校、福島工業高等専門学校の3校にて、それぞれの特長をいかしたプログラムを開発し約150人の高校生等の参加を得て実践
- ③脱炭素転換に向けた若手人材の育成



生徒作成模造紙

高校等のプログラム
への参加学生数 **150人**

川崎市での市民討議
への参加者数 **75人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

本活動は、参加・熟議型対話の手法開発・普及である。新型コロナウイルス禍の中、三密になりかねず、オンライン化が切実な課題になった。

■工夫した点

オンライン化の手法開発に徹底的に時間をかけ、試行錯誤を繰り返した。多くの先行事例研究を行い、専門家の指導を受けた。

〒160-0015
東京都新宿区大京町31-22
エクレール外苑西202
電話：03-6883-8865
E-mail：office@inst-dep.com
HP：http://inst-dep.com/

